

都道府県別賞一等

一型糖尿病と生命保険

奈良県 田原本町立田原本中学校 三学年

福本 優愛

私には、一型糖尿病という持病があります。この病気は、今のところ治すことのできない病気で、インスリンという薬を使用し血糖を安定させることで合併症を防ぎ、糖尿病ではない人と同じ生活を送ることができます。

しかし、一型糖尿病は生命保険に加入することが普通の人より難しいです。理由は、一型糖尿病は自己免疫疾患であり、すい臓のインスリン生産能力が失われることから、生涯にわたりインスリン療法を必要とします。このため、一型糖尿病患者は他の健康な人々と比べて高い健康リスクを伴うと見なされることが多いからです。また、一型糖尿病患者が生命保険に加入する際のもう一つの大きな問題は、保険料の高さです。保険会社はリスクを管理するために、通常よりも高い保険料を設定する傾向があるそうです。これにより、多くの患者が経済的な理由で加入を諦めざるを得ない状況があります。

ですが、近年では一型糖尿病患者の生命保険加入のハードルを低くするための取り組みもみられます。一部の保険会社では、糖尿病患者向けの特別な生命保険商品の提供が行われています。これらの保険商品は、糖尿病患者の管理状態や健康状態に基づいて柔軟に設定されています。そのため、より多くの人々が手に届く価格で加入できるように工夫されています。また、健康管理プログラムや、定期的な健康チェックを組み合わせることで、リスクを低減し、保険料を引き下げる試みも行われています。

さらに、患者自身も自分の健康状態をしっかり与管理し、定期的な医療チェックを受けることで、保険会社に対して自分のリスクが低いことを証明する努力をしています。このような努力が実を結び、将来的には一型糖尿病患者が生命保険に加入しやすくなることが期待されます。

このようなことから私は、将来は、一型糖尿病という病気は、しっかり治療していたら健康な人と変わらないし、リスクも低いということが世界中に広まって、健康な人と同じぐらい生命保険に加入しやすい環境になっていたらいいなと思います。